

【淀橋浄水場】六角堂  
／明治後期～昭和前期  
(東京都水道歴史館所蔵)



【淀橋浄水場】  
和田堀内村新水路分岐点・引入口  
／明治後期(東京都水道歴史館所蔵)



【淀橋浄水場】機関室／明治後期頃  
(東京都水道歴史館所蔵)



【村山貯水池】村山貯水池記念絵はがき  
村山貯水池之貯水池湖／大正～昭和前期頃  
(東京都水道歴史館所蔵)



## 東京近代水道の幕開けから125年

東京水道株式会社は、これからも東京の水道システムを最前線で支え、安全でおいしい水道の安定供給と総合的な事業運営ノウハウで、高品質なサービスを提供し、活気ある豊かな未来の社会づくりに貢献してまいります。

### 近代水道125年で培った 高度な技術と豊富なノウハウで水道事業に貢献

東京水道株式会社は、「日本最大級の水道トータルサービス会社」として、東京都水道局の技術系現場業務及びお客様窓口やお客様センターの運営、IT、技術開発事業など、水道のほぼすべての事業を担い、持続可能な水道事業を支えています。

当社は、東京都が80%以上を出資する法人であり、東京都水道局と当社とで「東京水道グループ」を構成しています。売上高のうち東京都水道局からの受託事業が9割以上を占める安定企業であり、さらに今後も現場系業務の大半を当社へ移転する方針が東京都水道局より示されており、現在進行形で事業が飛躍的に拡大しております。また、都の「政策連携団体」と位置付けられており、現場で培った技術やノウハウをもって都への政策提言を行い、東京都水道局とともに将来にわたり安全でおいしい水を安定的に供給する役割を担ってまいります。

東京近代水道は、1898(明治31)年の12月1日に、かつての淀橋浄水場(現在の東京都庁、当社入居のアイランドタワービル、新宿グリーンタワーを含む高層ビル群)から神田・日本橋地区への通水を開始してから125周年を迎えます。東京近代水道は、都市の近代化に欠かせない施設として大きな役割を果たし、今日世界最高水準の技術を有するに至っております。

首都東京の水道事業を支えるため、高い倫理観を持つことはもとより、125年で培った技術・ノウハウを確実に継承し、日々の安定給水は無論のこと、大規模災害時における対応力の強化にも一層努めてまいります。

さらに、広域連携や官民連携の機運の高まりが予想される国内水道事業体や海外事業体の皆さんへ、さまざまなニーズに合ったサービスをご提案し、125年間脈々と引き継いできた東京水道の高度な技術と豊富なノウハウで水道事業に貢献してまいります。

皆さまのご理解と格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長  
**野田 数**

## 経営理念

私たちは、東京水道グループの一員として高いコンプライアンスのもと、豊富な経験と確かな技術力で社会に貢献し、お客さまの満足度の向上と豊かな価値を創造する企業を目指します。

## 東京都の政策実現の一翼を担う「政策連携団体」として

私たちは、東京都の出資法人であり、政策連携団体として東京都の政策実現の一翼を担っています。都の行政運営を支援・補完するだけでなく、現場で培った技術やノウハウを活用し、企画・立案を行う役割を果たし、首都東京の水道を支えていきます。

※「政策連携団体」とは  
東京都が出資し、継続的に都派遣職員を受け入れるなど、都と事業協力を行う団体のうち、都と政策実現に向け連携するなど、特に都政との関連性が高い団体

## 「東京水道グループ」の一員として

東京都水道局と当社は、対等なパートナーとして「東京水道グループ」を構成し、一体となって都の水道事業を支えています。  
当社は、都より移管された技術系・営業系の業務を担っており、今後も業務移転の進展に伴って、その役割はより一層重要なものとなっていきます。  
都と連携した人材交流や共同研修、災害発生時の対応などを通じて、「東京水道グループ」の経営基盤や総合力の強化に貢献することで、将来にわたり、安全でおいしい水の安定供給を実現していきます。



## 東京都水道局と連携した応急復旧対応

当社は東京都水道局と締結している「災害等発生時における業務の協力に関する協定」に基づき、被災地の応急対応に社員を派遣しています。

### 令和6年能登半島地震での対応

当社社員の能登地方への派遣は東京都水道局給水区域外への初の社員派遣となりました。東京都水道局と連携し、輪島市内3箇所の拠点における応急給水、配水管の漏水調査、破損した水道管の修理を行いました。



給水車を使った応急給水活動(石川県輪島市)



既設管漏水箇所の復旧活動(石川県輪島市)

### 令和元年東日本台風(台風19号)での対応

令和元年東日本台風の被害を受けた多摩地区の住民へ、生活用水を給水用ポリタンクに充水し、断水地域に提供するなどの応急給水活動や、断水した地域の水道管復旧工事を行いました。



住民への応急給水活動(東京都奥多摩町)



道路崩壊に伴う水道管復旧活動(東京都日の出町)

## 「持続可能な東京の水道」への貢献

当社は、水道水源林の保全管理や水道施設の維持管理・施設運営業務等、日々の業務を通じてSDGsを推進しています。また、ペーパーレス化やグリーン調達の実施による環境配慮、働き方改革や女性活躍推進の取組、BCPの策定等を通じて社会の持続的発展に貢献しています。

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**





首都東京の水道システムを支えるトータルサービス

# 水道技術業務

水源から蛇口まで、水道管路の整備、水道施設の維持・管理、施設運営などの総合的な技術力で、安全でおいしい水の安定供給を支えています。



## 水道管路の整備業務

### 管路の調査・設計・積算

水道管の更新や新設を行うにあたり、工事対象路線の水道管の現状や、下水道やガス、電気などの他企業施設物及び工事対象路線の状況を調査し、工事の契約に必要な設計図書の作成や積算を行っています。

### 管路工事の施工監理

工事が設計図書などに基づいて適正に行われているか、安全・品質・工程などを監理するとともに、現場に立会い、工事受注者に対する指示、承諾及び協議を行っています。

## 水道施設の維持管理・施設運営業務

### 水道水源林の保全管理・貯水施設の管理

東京都水道局が保有する「水道水源林」を適切に管理し、安全でおいしい水を育む水道水源林の機能維持に努めています。また、玉川上水路や村山山口貯水池などの貯水施設について、適切な保全管理を行っています。

### 配水管附帯設備等の維持管理

都内全域に設置された配水管附帯設備等(流量計、圧力計、自動水質計器、伝送装置等)の点検等を行っています。

### 浄水場の施設運営(運転管理・水質管理・維持保全等)

高度浄水処理、急速ろ過、膜ろ過などの水処理を行う浄水場の運転監視・水質管理及び設備等の維持保全等を24時間体制で行っています。また、施設・設備の維持管理等に係る工事・委託の設計や監督等を行っています。

### 給水所の維持保全

給水所等では、電気設備、ポンプ設備などの点検や、簡易修繕、異常発生時の対応などを行い、給水所が常に安定的に稼働するよう維持保全を行っています。



# waterworks technology

## 水道管路の維持管理業務

### 水道管路の維持管理業務

#### 管路施設の調査・診断

配水管やバルブなどの附属設備について、その機能を保持しているか、施設の現状を調査・診断しています。

#### 管体環境調査

土壤中に埋設された配水管の状況を把握するため、管内外面の腐食、配水管周囲の土壤調査、分析などを行っています。

#### 他企業工事立会

下水道やガスなどの他企業工事によって水道管路などが損傷を受けることのないよう、現場での立会確認を行っています。

#### 配水管の計画排水

配水管内面に発生した錆などは、濁水や水質劣化の原因になるため、計画的な排水による管内洗浄を行っています。

#### 漏水調査・漏水防止対策

漏水調査や漏水防止対策に精通したスタッフにより、当社の開発機器などを使用した効率的な漏水調査や適切な漏水防止対策を提案しています。

# customer service



首都東京の水道システムを支えるトータルサービス

## お客さまサービス業務

お客さまセンター、営業所・サービスステーションでは、質の高いサービスを提供しています。

お客さまセンター運営業務 窓口・検針・徴収整理業務



給水装置工事業務



### お客さまセンター運営業務

お客さまとの総合受付窓口として、電話やスマートフォンアプリ等による水道使用開始・使用中止などの各種受付や問い合わせ対応などを効率的に行うコンタクトセンター（お客さまセンター）の運営、サービス提供を行っています。

### 営業所・サービスステーション業務

水道料金徴収業務や給水装置工事に関する地域の窓口として、お客さま目線に立ったサービスを提供しています。

#### 窓口業務

お客さまからの水道使用開始・中止などの各種受付や、水道料金収納などを行っています。

#### 徴収整理業務

水道・下水道料金等の支払いが遅れているお客さまに対して、訪問催告や電話催告により料金徴収を行っています。

#### 検針業務

使用水量の算定に関する業務を行っています。また、水道メータの検針業者への業務指導や進行管理なども行っています。

#### 給水装置工事業務

給水装置の設計審査や完成検査業務、検定有効期間満了に伴うメータ引換業務、給水装置工事電子申請や電子閲覧に関するお問い合わせへの対応などを行っています。

# waterworks IT service

首都東京の水道システムを支えるトータルサービス

## 水道ITサービス業務

水道料金徴収業務をIT分野でサポートし、高品質かつ効率的なサービスを提供しています。

システム開発・保守・運用 大量プリント業務



データセンター運用



### システム開発・保守・運用

東京都水道局の水道料金ネットワークシステム(SWAN)やコールセンターシステムを中心とし、それらと連携する様々なシステムを提供しています。さらに近年では、東京都水道局が推進するICTの戦略的活用を実現するために、スマートメータによる検針などのシステムを提供しています。また、法改正対応、機能向上といったシステム改修に加えて、システム障害対応、機器障害対応など、システムの維持管理に必要な保守業務全般に対応し、システム運用に至るまでの包括的な水道料金ネットワークシステムを提供しています。

### データセンター運用

24時間365日の有人監視、ビデオ監視及び3重のセキュリティドアの設置により、強固なセキュリティを確保しています。半世紀にわたり蓄積された運用ノウハウ・業務知識を活用し、システム運用の効率化と安定運用を提供しています。システム運用監視においては、障害検知、障害時の初動対応、復旧対応の即応性の維持向上に係る運用支援ツールを独自開発し導入しています。また、データエントリ、大量プリント、帳票仕分け、封入封緘、金融機関との口座データ授受などのすべての運用工程を、安全性の高い作業環境で行っています。さらに専任の搬送担当によるデリバリなど、お客さまへの納品に至るまでの包括的な運用サービスを提供しています。

## 有収率の向上への対策(漏水調査・漏水防止対策)

水道事業を運営する上で、大きな課題となる有収率向上のための漏水調査や漏水防止対策について、首都東京の漏水量約3%の実績を支える技術や様々な条件下での経験をもとに最適な提案を行います。

「TSリークチェッカー」を活用した効率的な漏水調査(スクリーニング工法)  
「TSリークチェッカー」によるスクリーニング工法は、効率的な漏水調査を可能とします。また、検針用ハンディターミナルとの連携により、漏水調査結果と検針データの一元管理を実現します。



第3回インフラメンテナンス大賞  
「厚生労働大臣賞」受賞

有収率の向上への対策



## 国内水道事業運営に貢献するソリューションサービス

# 国内水道事業

水道事業運営のトータルな技術とノウハウを活かし、各水道事業体の皆さまに最適なカスタマーサービスとITソリューションを提供します。

domestic waterworks

## 水道技術業務に関するコンサルティング

水道事業経営の効率化やベテラン技術者の減少など、水道事業体が抱える課題解決に向けて、水道施設の更新計画の作成や工事検査業務の効率化など、東京水道グループで培った技術的知見やノウハウを活用し、水道技術業務のコンサルティングを提供します。

秋田市上下水道局お客様センターの運営  
東京水道グループとして培ったノウハウを活かし、秋田の皆様への最適なカスタマーサービスの提供を通じて、お客様の安定的な運営に貢献しています。



## 水道管内の診断、濁水解消を支援する「水道管内調査カメラ」「TS型配水管内面洗浄工法」

当社では濁水発生の原因究明や対応策の提案、水道管内の排水作業の実作業を支援します。また、管内カメラにより水道管内面を調査・診断し、更新計画に反映するなどの提案を行います。



## 「水理・水質測定装置」を活用した水運用・水質状況の把握

当社の開発機器「水理・水質測定装置」は、配水管路網の状況を見える化します。有収率向上への対策、水質監視、管路更新計画立案(系統変更対応)など、実データに基づいたトータルソリューションを提供します。



## 人材育成支援

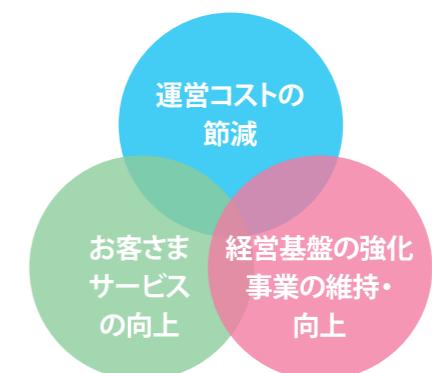
水道事業体や日本水道協会が開催する水道技術専門研修への講師派遣や出前講座の実施など、専門スタッフによる研修を実施します。

## 技術系職員・水道工事事業者の技術力向上

技術系職員や水道工事事業者の方を対象とした講習会、研修会を行います。水道管の接合や漏水防止、浄水処理、電気設備などの実務研修により、水道技術者の技術や知識の習得を支援します。

## 改正水道法施行に伴う水道事業体支援業務・包括受託

当社はこれまで培ってきた水道事業運営に関するノウハウや実績をもって、水道基盤の強化など、各水道事業体のニーズに即した様々な業務支援を提供します。



## 指定給水装置工事事業者向け講習会への講師派遣

「指定給水装置工事事業者制度への指定の更新制」の導入に伴い、水道事業体が開催する指定給水装置工事事業者講習会の講師派遣業務を行います。

## 包括委託契約・業務委託等のモニタリング業務

水道事業において公的な役割を担う当社の経験を活かし、委託業務の執行状況を適切に評価するモニタリングを行います。



自治体・公共団体を支えるITソリューションサービス

## IT・技術開発

水道の技術系業務や営業系業務、IT技術の豊富な経験を活かし、あらゆる自治体や公共団体の業務を支援するITソリューションを提案します。

### システム製品

#### 出退勤管理システム「勤怠Plus」

自治体・公共団体の多様な労務管理に対応

出退勤時刻の把握、各種休暇や時間外勤務などの申請登録・承認、帳票出力(出勤簿、超過勤務等命令簿、休暇・職免等処理簿)などの出退勤管理業務を効率的に行える、自治体・公共団体に特化したシステムです。

給与システムや経路検索ソフトと連携し、給与や旅費交通費の計算業務の効率化が図れます。また、当社のクラウドサービスの活用により、インターネットを介した出退勤及び休暇申請管理が可能となり、設備投資が不要となります。

**勤怠 Plus**

#### 上下水道料金システム「WISH」

望みどおりに、思いどおりに。まるでオーダーメードのような使い勝手の良さ。

その願いをかなえるのが上下水道料金システム「WISH」です。コアシステム「WISH」と、自由に選択していただける豊富なオプションユニットで、水道包括アウトソーシングをサポートします。



#### 時間積分式漏水発見器 「TSリークチェック」

検針業務との併用により、コスト縮減や業務効率化に貢献

給水管や水道メータなどで「TSリークチェック」を使用して測定することにより、漏水振動の継続的な音と、雑音の一過性の音を識別します。



※ TSリークチェックは、「東京水道株式会社」と「株式会社日本ウォーターソリューション」の共同開発です。  
※ 本機器を活用したスクリーニング工法が第3回インフラメンテナンス大賞「厚生労働大臣賞」を受賞

### システムインテグレーション

#### 人事・給与システム

様々な人事・給与制度に対応します。例えば、給与計算においては公務員給与・年俸制給与・臨時雇用給与など、複数の給与体系の統合運用が可能です。

#### 各種統計システム

データ収集から統計データ・帳票作成までをシームレスに行うことにより、統計資料作成業務を効率化できます。



世界の水問題に挑むソリューションサービス

## 海外水道事業

overseas waterworks

東京水道グループで培った世界最高水準の技術とノウハウにより、海外水道事業体をサポートしています。

### 海外向け研修事業

開発途上国や各地域が抱える水道インフラの整備や維持管理における課題を解決に導き、自立した水道システムの運営を目指します。コロナ禍の状況においては、感染拡大防止のため、Webセミナーなど、日本国内からリモートで研修業務を実施しています。

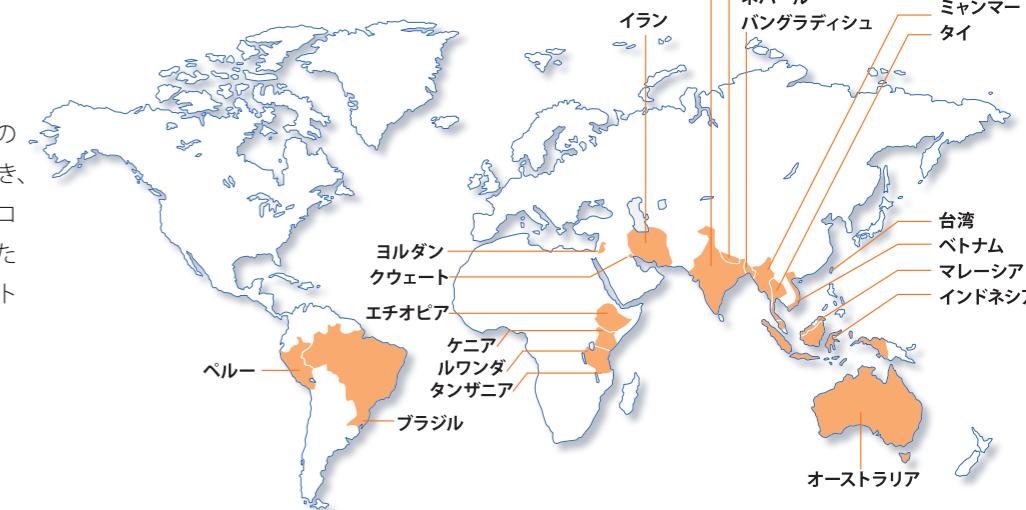


### 無収水削減対策事業

漏水や盗水などにより、料金徴収が困難な開発途上国を対象に、ODAを活用したインフラ整備などを行うことで、無収水量削減に貢献しています。

### 専門家の現地派遣

開発途上国の水道事業を改善するために、主に無収水削減事業を担う人材の育成として現地へ専門家を派遣し、漏水対策をはじめとした施設維持管理・財務管理・資産管理などの研修実施、経営計画策定、メータ管理の改善、検針業務などの研修・技術指導を行っています。



### 海外向け水道技術研修の実施

国際協力機構(JICA)や海外水道事業体などからの業務受託により、海外の研修生に漏水調査や無収水削減対策、水道施設の維持管理などの研修を行っています。

### 研修支援

JICAが受け入れる開発途上国の水道分野の行政官やエンジニアに向けた研修に講師を派遣しています。

### 情報発信

国内外におけるシンポジウムや研究発表会での論文発表、展示会でのブース出展を行っています。



金町浄水場の取水塔



羽村取水壠

## 現在、そしてこれから東京の水道を支える 重要なパートナーとして

### 東京都水道局長からのメッセージ



東京都水道局は、公共性と効率性を両立させながら、将来にわたり、責任を持って安全でおいしい高品質な水を安定的に供給していくため、水道事業における基幹的業務を当局と政策連携団体である東京水道株式会社が担う、一体的な事業運営体制を構築しています。

また、東京水道グループという一つのチームとして統一的な経営戦略の下、相互に強みを発揮し、有機的な連携を図りながら、グループ経営を推進してきました。

一方で、水道法の改正や、気候変動による自然災害の多発、デジタルトランスフォーメーションの推進など、都の水道事業を取り巻く環境は、かつて経験したことのない局面にあります。

こうした環境の変化に的確に対応し、東京水道グループの総合力を強化していくためには、これまで以上にグループ内の連携を強化し、グループとしての一体性を持って効率的かつ効果的に事業を運営していく必要があります。

そのため、グループ内での人材の相互交流や共同研修の実施など、一体となった人材の確保・育成に取り組んでいます。

また、当局と同社が、対等なパートナーとして、一体感を醸成し、より良い業務を目指す『ともにプロジェクト』を推進することを通して、グループの総合力を一層高めてまいります。

当局は、東京水道株式会社とともに、最も重要な基幹ライフラインとしての水道事業を担い、これからも、都民生活と首都東京の都市活動を支えていきます。

東京都水道局長 西山 智之



村山下貯水池



玉川上水



玉川上水(羽村橋付近)

### 東京都水道局からの業務移転の歴史

50年以上に渡り、東京の水道を技術、サービス、ITの分野で長年支えてきた2社がそれぞれの技術とノウハウを集結し、水道トータルサービス会社「東京水道株式会社」として誕生しました。

#### 株式会社PUC

year

1966

- 財団法人公営事業電子計算センターを設立
- 東京都水道局水道料金調定システムの運用開始



#### 東京水道サービス株式会社

year

1987

- 水道総合サービス株式会社を設立
- 管路診断業務を受託

1995

- 浄水施設の運転管理業務受託開始

2001

- 社名「東京水道サービス株式会社」へ



2002

- 多摩地区小管工事監督業務受託開始

2003

- 他企業工事立会業務受託開始

2004

- 多摩地区小管設計業務、多摩地区給水装置業務受託開始

2005

- 東京都水道局における一體的事業運営体制構築の方針決定
- 東京都から監理団体の指定

2006

- 区部給水装置業務受託開始

2008

- 区部配水小管設計、本管設計・工事監督業務受託開始

2009

- 東京都水道局が「東京水道サービス株式会社を活用した新たな国際貢献」を発表
- 多摩本管設計・工事監督業務受託開始

2010

- 区部小管工事監督業務受託開始

2011

- 区部で東京都水道局営業所の運営開始(現在計10か所運営中)

2020



水道トータルサービス会社として  
東京水道株式会社  
業務開始

2023

- 浄水場全体の運営業務を受託開始

history